

## 実践報告

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大における学生の健康及び生活に関する  
調査報告（第2報）

— 前期調査（2020年5月）と後期調査（2021年1月）の比較 —

2nd report : Survey report on student health and life in the spread of new coronavirus  
infection (COVID-19)

— Comparison of the first term survey (May 2020) and the second term survey (January 2021) —

山根 真紀

Maki YAMANE

日本福祉大学 スポーツ科学部

Faculty of Sport Sciences, Nihon Fukushi University

## 1. 背景

2020年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大により、本学は1か月遅れの5月11日から大学が再開した。再開といっても、講義はもちろん演習や実技も含め、全て遠隔授業となり、校内への不要不急の入構が制限された。学生は遠隔授業という慣れない授業形態に不安を感じ、さらに、政府が発出した緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により飲食店の営業時間が短縮したことによりアルバイト収入が減少したり、中には解雇されたりと、生活も脅かされた。特に新入生は先生も知らない、友人もいないといった孤独な中で大学生活が始まり、不安や心配が他の学年以上に高まっていることが容易に想像できた。

第1報では、そのような状況下におかれた学生の不安や心配を理解し、安心安全に大学生活を送るための支援策を検討するために、前期開始の5月11日（月）～5月22日（金）に実施されたアンケート調査の結果について報告した（以下前期調査）<sup>1)</sup>。調査結果の概要は、遠隔授業の実施については、学生の不安内容を把握したきめ細かな対応が

求められるとともに、学生が大学生活で感じる不安感については学年差があることをふまえて指導していくことも重要であることが明らかとなった。さらに、経済的に苦しい学生への持続的な支援が必要であり、そのためには今後も定期的に学生の様子を把握するための調査を実施していくことが不可欠であることが示唆された。

文部科学省では、「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」の、大学・大学院・高専に関する情報の中で、「大学等における後期等の授業の実施状況に関する調査」（2020年12月23日）<sup>2)</sup>を報告している。その結果、調査対象校（377校）のうち約半数（190校／50.4%）は、授業全体の半分以上を対面授業で実施していた。また、残りの大学（187校／49.6%）は、対面授業の実施割合は半分未満となっているが、このうち、「大多数の学生が、授業の形態等について理解・納得している」と回答しているのは140校（74.9%）を占めていた。以下に本学の回答内容を掲載した。

【本学の回答】 授業形態：併用，比率：3割対面，以下学生への説明内容

2020年4月に大学トップページにおいて、学長より全ての学生に対して、①感染防止を最優先する（学生・大学院生，教職員の健康と安全），②教育保障（学生・大学院生の学びの保障），③臨機応変に対応していくこと（状況の変化への細やかな対応）の3つを柱とするコロナ禍に対する本学の基本方針を示した。基本方針の中で、本学は障害のある学生を多く受け入れている上に、学内関係者や学生の保護者には福祉や医療の現場のエッセンシャルワーカーも多く、学内でクラスター感染を引き起こした場合、学内での重症者・死亡者の発生や、家庭内感染を通じて地域のライフラインにまで甚大な影響を及ぼすおそれがある。

「ふくしの総合大学」を標榜する大学として、①の感染防止を最も優先した上で教育保障を追求した結果として、多くの科目で遠隔授業を導入したことを説明している。他方で、本学の多くの学部で福祉，医療，教育の現場での対人援助職の養成を行っていることから、2年生次以上の学年では実習をはじめ対面での指導が必要不可欠な演習，実験・実技科目も多いため、政府及び自治体の発表や県内感染状況を踏まえながら、受入可能な施設については実習を6月から後期にかけて再配置して実施している。実習については、国家資格等の取得には必須の要件となる為、実習を安全に行う上でも、前期7月後半の新型コロナウイルスの再拡大後は、講義系科目については遠隔授業を基本として実施した。

ただし、演習，実技，実験等の一部の科目は、前期後半にオンライン授業を基本とした際にも、面接授業での実施とし、後期開始時においても面接授業で実施している。また、入学以降、キャンパスライフの機会が少ない1年生に対しても、後期後半の10月19日からゼミ科目，実技科目とこれらが開講される曜日に配置されている1年生次配当科目について対面授業を再開した。

以上のように本学の後期授業は、遠隔を中心に3割程度の対面を併用した授業形態をとった。本学は、障害学生を受け入れていることや関係者に医療関係等のエッセンシャルワーカーが多いことなどを考慮し、感染防止を最も優先した上で、遠隔授業を中心とした授業形態とするが、資格関連の科目および入学以来大学での生活機会が少ない1年生に対

しては、ゼミや演習科目，実技科目について対面授業を再開した。

一方、「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への支援状況に関する調査」（2020年12月末時点）<sup>3)</sup>では、全体の98.5%の大学等において、後期分の授業料の納付猶予を実施し、全体の74.0%の大学等において、経済的に困難な学生を対象とした各大学等による授業料等減免を実施していた。その結果というべきかもしれないが、学生数に占める4月～12月の中退者数の割合は、2019年度に比べて2020年度の方がやや少なく、学生数に占める4月～12月の休学者数の割合は、2020年度と2019年度で、大きな変化はない、という結果であった。各大学での学生目線での様々な対応が、学生の学びの継続を支援したものと推察される。

以上のように、コロナ禍が継続する中で、大学の対応は少しずつ変化していることがわかる。前期に比べ後期は、対面授業が増えたり、部活やサークル活動がゆるやかに再開されたりと、学生の生活も変化してきていると推測される。そこで本研究（以下後期調査）では、後期授業終了時の学生の健康や生活状況の変化について前期の結果との比較を行うことで、今後の学生指導の資料を得ることを目的とした。

## 2. 方法

### 2.1. 調査対象

日本福祉大学スポーツ科学部所属の1～3年生を対象とした（表1）。2020年5月の前期調査では416名（回答率75.4%），2021年1月の後期調査では390名（回答率70.7%）が回答した。

### 2.2. 調査方法と調査時期

調査はgoogleフォームを用いたWEBアンケートとした。nfu.jpの掲示板で全学生に配信するとともに、導入ゼミ（1年生），スポーツフィールドワーク（2年生），専門演習1（3年生）の各ゼミ担当教員に、学生の回答を促す連絡をしていただくよう依頼した。

調査期間は2021年1月8日～22日とした。

表1 調査対象者

	前期調査 (5月)			後期調査 (1月)	
	総数 (名)	回答数 (名)	(回答率)	回答数 (名)	(回答率)
1年	182	168	92.3%	130	71.4%
2年	194	126	64.9%	145	74.7%
3年	176	122	69.3%	115	65.3%
合計	552	416	75.4%	390	70.7%

### 2.3. 調査項目と分析方法

調査項目は以下の8項目とし、各項目について具体的な状況もあわせてたずねた。尚、学年以外の属性は、後期調査のみ実施した。

- 1) 属性 (学年, 性別, 居住形態, 本学の部・サークルでの活動) について
  - 2) 「健康」に関する不安や心配について
  - 3) 「講義・授業」に関する不安について
  - 4) 「大学生活」に関する不安や心配について
  - 5) 「日常生活」に関する不安や心配について
  - 6) 「経済」的な不安の程度について  
「経済」に関して不安や心配が「とてもある」または「ややある」と回答した学生を経済高不安群, 「どちらともいえない」「あまりない」「全くない」を経済低不安群とした。
  - 7) アルバイトの状況
  - 8) 大学や学部への要望
- 2) ~ 8) については  $\chi^2$  検定を用いて, 全体およ

び学年別に前期調査と後期調査のちがいを検討した。性差については後期調査のみ分析した。また, 2) ~ 8) の学年差については, 前期調査, 後期調査別に分析した。分析には統計パッケージ SPSS Ver.21 を用い,  $p < 0.05$  を有意とした。

### 2.4. 用語について

インターネット回線を通して行う授業は, オンライン授業, 遠隔授業, リモート授業, WEB 授業, オンデマンド授業など様々な名称が存在するが, ここではすべて遠隔授業とした。

## 3. 結果と考察

### 3.1. 調査対象者の基本情報

表2に回答者の属性を示した。性別では男性が73.6%, 女性が26.4%で, 居住形態では1人暮らしが54.9%, また74.4%の学生が部・サークル活動を実施していた。性別, 居住形態, 部・サークル

表2 調査対象者の基本情報

	1年 n=130	2年 n=145	3年 n=115	全体 n=390	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	$p^*$
性別					
男性	97 (74.6)	112 (77.2)	78 (67.8)	287 (73.6)	ns
女性	33 (25.4)	33 (22.8)	37 (32.2)	103 (26.4)	
居住形態					
一人暮らし	71 (54.6)	82 (56.6)	61 (53.0)	214 (54.9)	ns
家族と同居	59 (45.4)	63 (43.4)	54 (47.0)	176 (45.1)	
部・サークルでの活動状況					
加入	95 (73.1)	115 (79.3)	80 (69.6)	290 (74.4)	ns
未加入	35 (26.9)	30 (20.7)	35 (30.4)	100 (25.6)	

$p^*$ : 学年差に関する  $\chi^2$  検定

活動状況に学年差は認められなかった。尚、前期調査では、属性に関する調査を行っていないため、本調査とは比較していない。

### 3.2. 前期調査と後期調査の比較

「健康」、「講義・授業」、「大学生生活」および「日常生活」に関する不安や心配の有無、「経済」高不安群の割合、「大学や学部への要望」の有無について、前期調査と後期調査を比較した結果を図1に示した。その結果学生の不安レベルは、「大学生生活」は変化がなく、「健康」は有意に増加、それ以外は有意に減少した。以下、各調査項目について、全体、学年別、また具体的な心配や不安項目も含め結果を示す。

#### 1) 「健康」に関する不安や心配について (表3)

「健康」について不安や心配がある学生は前期では15名(3.6%)と少なかったが、後期では32名(8.2%)と有意に増加した。学年別では、全ての学年で後期は増加傾向にあるが、学年間について有意差は認められなかった。

「健康」について不安や心配が「ある」と回答した学生の具体的な心配としては、「気持ちが不安定」が4名(26.7%)から21名(65.6%)に有意に増

加し、学年別でも同様の傾向\*が認められた。

※「健康」については、回答数が少ないため、詳細項目については統計的検定を行っていない。

以上のことから、新型コロナ感染拡大が長期化した影響を受け、少なくとも数の学生がメンタルの不調を訴えている。今後ゼミ教員や学生相談室と連携を取り、個別に対応が必要である。

#### 2) 「講義・授業」に関する不安や心配について (表4)

「講義・授業」について不安や心配がある学生は前期203名(48.8%)から、後期158名(40.5%)と有意に減少した。学年別では、2年生と3年生で減少傾向にあり、3年生で有意差が認められた。

「講義・授業」について不安や心配が「ある」と回答した学生の具体的な心配としては、「WEB授業で十分に学習できるか(実技等も含めて)不安」は160名(78.8%)から、後期109名(69.0%)と有意に減少し、「WEB授業がどのように行われるのか不安」(18.7%から28.5%へ)、「感染し、長期欠席した場合の単位取得に関する不安」(15.8%から25.9%へ)はそれぞれ有意に増加した。学年別でも同様な傾向であったが有意差は認められなかった。

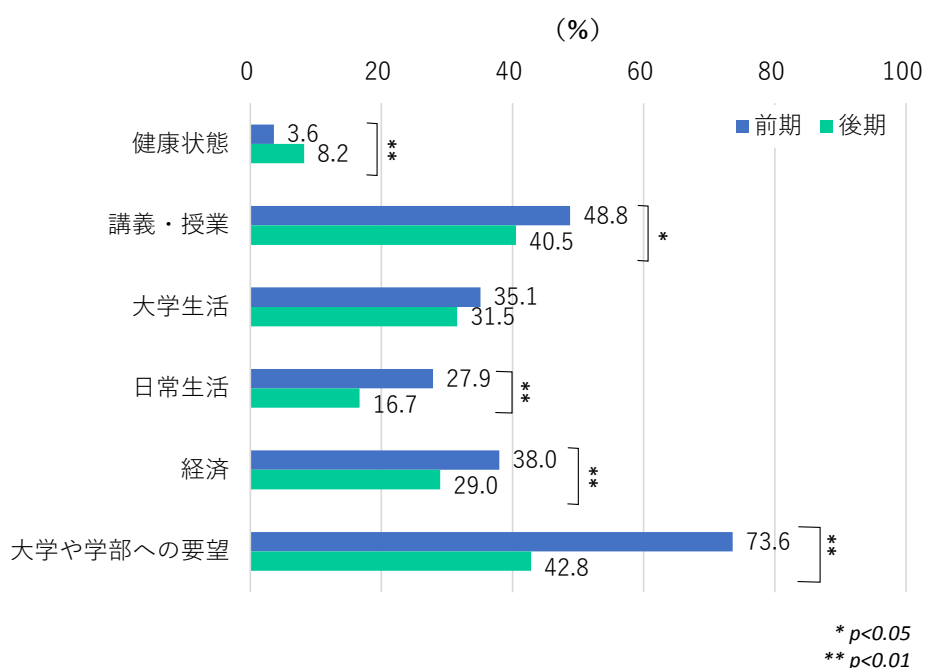


図1 調査項目別不安有りの割合の変化

「講義・授業」について不安や心配は改善傾向にあるものの、「WEB 授業で十分に学習できるか（実技等も含めて）不安」は依然 7 割程度の学生に認められ、さらに不安や心配が増加した項目も見られる。前後期を通じ WEB 授業を経験しても、未だ不安や心配を抱えた学生が多く存在することを受け止め、今後の授業対応に活かしていく必要がある。

### 3) 「大学生生活」に関する不安や心配について

#### (表 5)

「大学生生活」について不安や心配がある学生は前期 146 名 (35.1%) から、後期 123 名 (31.5%) と減少したものの有意差は認められなかった。学年別では、1 年生と 2 年生で大きな変化は認められなかったものの、3 年生では有意に減少した。「大学生生活」について不安や心配が「ある」と回答した学生の具体的な項目については、全体、学年別とも有意な変化を示した項目は認められなかった。

今回の結果から、大学生生活に関する不安や心配は十分改善されていないことが明らかになった。特に、インターンシップや教育実習について、就職活動、教員採用試験についてなど、学生の進路に関連する不安は、学年が高いほど高く 5 割を超える。今後丁寧な対応が必要である。

### 4) 「日常生活」に関する不安や心配について

#### (表 6)

「日常生活」について不安や心配がある学生は前期 116 名 (27.9%) から、後期 65 名 (16.7%) と有意に減少し、学年別でも全ての学年で有意に減少した。

「日常生活」について不安や心配が「ある」と回答した学生の具体的な不安や心配としては、「感染拡大がいつ終わるのか先が見えないことが不安」が最も高く 7 割を超え、前期に引き続き最も高かった。「マスクや消毒液が手に入らず不安」は 19 名 (16.4%) から 3 名 (4.6%) と有意に減少し、学年別でも同様な傾向を示したが、有意差は認められなかった。また、「知らないうちに誰かに感染を広げているかもしれない」は 26.7% から 46.6% へ有意に増加し、学年別では、2 年生が有意に増加した。

以上の結果から、「日常生活」について不安や心

配がある学生は減少してきていることが明らかになったものの、48 名 (73.8%) の学生が「感染拡大がいつ終わるのか先が見えないことが不安」と考えており、前述した「健康」に関する項目でも示されたメンタル面の不調との関連も考えられるため、ゼミ単位での面談を通して、サポートしていく必要がある。

### 5) 「経済」に関する不安や心配について (表 7)

「経済」的な不安や心配が「とてもある」または「ややある」と回答した経済高不安群は前期 158 名 (38.0%) から、後期 113 名 (29.0%) と有意に減少した。経済高不安群の割合は、2 年生と 3 年生で減少傾向にあり、3 年生で有意差が認められた。

「アルバイトをしている」学生は 79.0% から 85.4% に有意に増加した。学年別でみると、1 年生が 56.5% から 73.8% へ有意に増加し、アルバイト実施率が高まった。また、アルバイトをしている学生に、アルバイトの機会が減ったり、解雇されたりといった状況をたずねたところ、「以前と変化がない」が 19.9% から 33.9% へ有意に増加し、学年別でも同様な傾向で、3 年生で有意差が認められた。また、「実際に減った」では、72.8% から 59.5% へ有意に減少し、学年別でも同様な傾向を示し、3 年生で有意差が認められた。全体として、アルバイトの実施状況に改善傾向が認められた。

学生の経済的不安はアルバイトの状況が改善されていることも影響し、全体的には減少傾向であるものの、経済的な不安が高い約 3 割の学生の現状把握とサポートについて、対応を検討する必要がある。

### 6) コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、大学や学部への要望について (表 8)

コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、大学や学部への要望のある学生は、前期 306 名 (73.6%) から、後期 167 名 (42.8%) と有意に減少し、学年別でも、全ての学年で有意に減少した。

「大学や学部への要望」があると回答した学生の具体的な要望としては、「経済援助を充実させてほしい」が最も高かった (前期 59.2%, 後期 62.3%) が、前期、後期で有意な変化は認められなかった。

表3 健康に関する不安や心配

	1年		2年		3年		性別 (後期のみ)				全学年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	男性	女性	前期	後期	前期	後期	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
あなた自身の健康面に関して不安や心配がありますか？													
ある	7 (4.2)	9 (6.9)	3 (2.4)	11 (7.6)	5 (4.1)	12 (10.4)	26 (9.1)	6 (5.8)	0.404	15 (3.6)	32 (8.2)	<b>0.006</b>	
ない	161 (95.8)	121 (93.1)	123 (97.6)	134 (92.4)	117 (95.9)	103 (89.6)	261 (90.9)	97 (94.2)		401 (96.4)	358 (91.8)		
「ある」と回答した学生：健康面に関してどのようなことが心配ですか？ (複数回答)													
気持ちが不安定	0 (0.0)	8 (88.9)	1 (33.3)	6 (54.5)	3 (60.0)	7 (58.3)	17 (65.4)	4 (66.7)	1.000	4 (26.7)	21 (65.6)	<b>0.026</b>	
腹痛や下痢	4 (57.1)	3 (33.3)	1 (33.3)	1 (9.1)	0 (0.0)	4 (33.3)	5 (19.2)	3 (50.0)	0.148	5 (33.3)	8 (25.0)	0.728	
全身の倦怠感	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (18.2)	0 (0.0)	2 (16.7)	2 (7.7)	2 (33.3)	0.150	0 (0.0)	4 (12.5)	0.291	
発熱している	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	0.188	1 (6.7)	1 (3.1)	0.541	
その他	3 (42.9)	2 (22.2)	1 (33.3)	5 (45.5)	2 (40.0)	3 (25.0)	9 (34.6)	1 (16.7)	0.637	6 (40.0)	10 (31.3)	0.742	

表4 講義・授業に関する不安や心配

	1年		2年		3年		性別 (後期のみ)				全学年				
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	男性	女性	前期	後期	n (%)	n (%)			
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	p	n (%)	p	n (%)			
「講義・授業等」に対する不安や心配がありますか？															
ある	70 (41.7)	57 (43.8)	0.724	67 (53.2)	64 (44.1)	0.145	66 (54.1)	37 (32.2)	<b>0.001</b>	113 (39.4)	45 (43.7)	0.483	203 (48.8)	158 (40.5)	<b>0.019</b>
ない	98 (58.3)	73 (56.2)		59 (46.8)	81 (55.9)		56 (45.9)	78 (67.8)		174 (60.6)	58 (56.3)		213 (51.2)	232 (59.5)	
「ある」と回答した学生：講義・授業に関してどのようなことが心配ですか？ (複数回答)															
WEB授業で十分に学習できるか(実技等も含めて)不安	56 (80.0)	44 (77.2)	0.828	53 (79.1)	41 (64.1)	0.080	51 (77.3)	24 (64.9)	0.248	73 (64.6)	36 (80.0)	0.085	160 (78.8)	109 (69.0)	<b>0.039</b>
対面授業開始後、通学で感染してしまうのか不安	14 (20.0)	19 (33.3)	0.106	26 (38.8)	32 (50.0)	0.221	26 (39.4)	12 (32.4)	0.529	44 (38.9)	19 (42.2)	0.722	66 (32.5)	63 (39.9)	0.152
WEB授業がどのように行われるのか不安	19 (27.1)	17 (29.8)	0.844	11 (16.4)	19 (29.7)	0.096	8 (12.1)	9 (24.3)	0.165	41 (36.3)	4 (8.9)	<b>0.000</b>	38 (18.7)	45 (28.5)	<b>0.032</b>
感染し、長期欠席した場合の単位取得に関する不安	12 (17.1)	14 (24.6)	0.378	13 (19.4)	17 (26.6)	0.407	7 (10.6)	10 (27.0)	0.051	34 (30.1)	7 (15.6)	0.071	32 (15.8)	41 (25.9)	<b>0.018</b>
WEB授業の準備で、設備を揃えるための費用がかかる	20 (28.6)	13 (22.8)	0.544	17 (25.4)	14 (21.9)	0.685	15 (22.7)	10 (27.0)	0.639	26 (23.0)	11 (24.4)	0.838	52 (25.6)	37 (23.4)	0.712
その他	3 (4.3)	1 (1.8)		5 (7.5)	2 (3.1)		3 (4.5)	3 (8.1)		4 (3.5)	2 (4.4)		11 (5.4)	6 (3.8)	

表5 「大学生生活」に関する不安や心配

	1年		2年		3年		性別 (後期のみ)				全学年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	男性	女性	前期	後期	n (%)	p	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)		
「大学生生活」に対する不安や心配がありますか？													
ある	44 (26.2)	42 (32.3)	39 (31.0)	46 (31.7)	63 (51.6)	35 (30.4)	85 (29.6)	38 (36.9)	0.176	146 (35.1)	123 (31.5)	<b>0.296</b>	
ない	124 (73.8)	88 (67.7)	87 (69.0)	99 (68.3)	59 (48.4)	80 (69.6)	202 (70.4)	65 (63.1)	0.001	270 (64.9)	267 (68.5)		
「ある」と回答した学生：大学生生活に関してどのようなかことが心配ですか？ (複数回答)													
インターンシップ・教育実習が実施できるか心配	9 (20.5)	16 (38.1)	13 (33.3)	24 (52.2)	40 (63.5)	25 (71.4)	43 (50.6)	22 (57.9)	0.506	62 (42.5)	65 (52.8)	0.111	
就職活動や教員採用試験に関して不安	25 (56.8)	16 (38.1)	15 (38.5)	25 (54.3)	38 (60.3)	22 (62.9)	42 (49.4)	21 (55.3)	0.832	78 (53.4)	63 (51.2)	0.806	
部活やサークル活動が継続できなくなるか不安 (後期調査の対面授業開始後の3密 (講義・講義・講義) への対策)	13 (29.5)	15 (35.7)	23 (59.0)	20 (43.5)	25 (39.7)	9 (25.7)	25 (29.4)	19 (50.0)	0.190	61 (41.8)	44 (35.8)	0.319	
体調面で不安が生じた場合の支援が受けられるか心配	17 (38.6)	14 (33.3)	13 (33.3)	11 (23.9)	10 (15.9)	3 (8.6)	22 (25.9)	6 (15.8)	0.368	40 (27.4)	28 (22.8)	0.402	
ボランティア活動が継続的に実施できるか心配	5 (11.4)	7 (16.7)	6 (15.4)	7 (15.2)	16 (25.4)	7 (20.0)	13 (15.3)	8 (21.1)	0.625	27 (18.5)	21 (17.1)	0.873	
その他	3 (6.8)	3 (7.1)	0 (0.0)	1 (2.2)	1 (1.6)	4 (11.4)	6 (7.1)	2 (5.3)	1.000	4 (2.7)	8 (6.5)	0.253	



表6 「日常生活」に関する不安や心配

	1年			2年			3年			性別(後期のみ)			全学年		p	
	前期	後期	n(%)	前期	後期	n(%)	前期	後期	n(%)	男性	女性	n(%)	前期	後期		n(%)
	n	n	(%)	n	n	(%)	n	n	(%)	n	n	(%)	n	n		(%)
「日常生活」で不安や心配がありますか？																
ある	38 (22.6)	17 (13.1)	0.036	36 (28.6)	23 (15.9)	0.012	42 (34.4)	25 (21.7)	0.032	43 (15.0)	22 (21.4)	0.165	116 (27.9)	65 (16.7)	0.01	
ない	130 (77.4)	113 (86.9)		90 (71.4)	122 (84.1)		80 (65.6)	90 (78.3)		244 (85.0)	81 (78.6)		300 (72.1)	325 (83.3)		
「ある」と回答した学生：日常生活に関してどのようなことが心配ですか？(複数回答)																
感染拡大がいつ終わるのか先が見えないことが不安	28 (73.7)	14 (82.4)	0.733	22 (61.1)	17 (73.9)	0.402	26 (61.9)	17 (68.0)	0.793	30 (69.8)	18 (81.8)	0.379	76 (65.5)	48 (73.8)	0.317	
家族のことが心配(感染させたくない等)	15 (39.5)	8 (47.1)	0.768	16 (44.4)	11 (47.8)	1.000	21 (50.0)	11 (44.0)	0.801	18 (41.9)	12 (54.5)	0.432	52 (44.8)	30 (46.2)	0.878	
知らないうちに誰かに感染を広げているかもしれない	9 (23.7)	7 (41.2)	0.213	10 (27.8)	13 (56.5)	0.033	12 (28.6)	9 (36.0)	0.591	19 (44.2)	10 (45.5)	1.000	31 (26.7)	29 (44.6)	0.021	
いろいろな情報が氾濫し、どれが正しいのか分からない	9 (23.7)	6 (35.3)	0.514	7 (19.4)	5 (21.7)	1.000	15 (35.7)	5 (20.0)	0.270	14 (32.6)	2 (9.1)	0.065	31 (26.7)	16 (24.6)	0.860	
感染したらどうしたらいいかわからない	10 (26.3)	7 (41.2)	0.347	10 (27.8)	2 (8.7)	0.103	10 (23.8)	6 (24.0)	1.000	11 (25.6)	4 (18.2)	0.757	30 (25.9)	15 (23.1)	0.723	
感染したことが知られることによる差別・偏見が怖い	7 (18.4)	5 (29.4)	0.482	8 (22.2)	6 (26.1)	0.762	6 (14.3)	3 (12.0)	1.000	12 (27.9)	2 (9.1)	0.114	21 (18.1)	14 (21.5)	0.564	
基礎疾患等(喘息等の慢性疾患)があり、外出ができない	2 (5.3)	2 (11.8)	0.580	1 (2.8)	1 (4.3)	1.000	3 (7.1)	1 (4.0)	1.000	4 (9.3)	0 (0.0)	0.291	6 (5.2)	4 (6.2)	0.748	
マスクや消毒液が手に入らず不安	8 (21.1)	1 (5.9)	0.247	3 (8.3)	1 (4.3)	1.000	8 (19.0)	1 (4.0)	0.138	3 (7.0)	0 (0.0)	0.545	19 (16.4)	3 (4.6)	0.031	
その他	2 (5.3)	2 (11.8)	0.580	2 (5.6)	0 (0.0)	0.516	2 (4.8)	2 (8.0)	0.626	2 (4.7)	2 (9.1)	0.599	6 (5.2)	4 (6.2)	0.748	

表7 「経済」的な不安や心配

	1年				2年				3年				全学年			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
生活が困難、授業料が払えないなどの経済的な不安はどの程度ありますか																
経済高不安群 <sup>※1</sup>	53 (31.5)	41 (31.5)	1,000	51 (40.5)	44 (30.3)	0.097	54 (44.3)	28 (24.3)	0.002	85 (29.6)	28 (27.2)	0.705	158 (38.0)	113 (29.0)	0.007	
経済低不安群 <sup>※2</sup>	115 (68.5)	89 (68.5)		75 (59.5)	101 (69.7)		68 (55.7)	87 (75.7)		202 (70.4)	75 (72.8)		258 (62.0)	277 (71.0)		
アルバイトを行っていますか																
している	95 (56.5)	96 (73.8)	0.002	110 (87.3)	130 (89.7)	0.571	111 (91.0)	107 (93.0)	0.637	248 (86.4)	85 (82.5)		316 (76.0)	333 (85.4)	0.001	
していない	73 (43.5)	34 (26.2)		16 (12.7)	15 (10.3)		11 (9.0)	8 (7.0)		39 (13.6)	18 (17.5)		100 (24.0)	57 (14.6)		
アルバイトをしている学生：コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、アルバイトの機会が減ったり、解雇されたりしたことがありますか？（複数回答）																
以前と変化がない	28 (29.5)	38 (39.6)		17 (15.5)	37 (28.5)		18 (16.2)	38 (35.5)	p<.01	87 (35.1)	26 (30.6)		63 (19.9)	113 (33.9)	p<.01	
以前より増えた	6 (6.3)	3 (3.1)		4 (3.6)	6 (4.6)		7 (6.3)	3 (2.8)		9 (3.6)	3 (3.5)		17 (5.4)	12 (3.6)		
実際に解雇された	5 (5.3)	3 (3.1)		1 (0.9)	5 (3.8)		0 (0.0)	2 (1.9)		9 (3.6)	1 (1.2)		6 (1.9)	10 (3.0)		
実際に減った	56 (58.9)	52 (54.2)		88 (80.0)	82 (63.1)		86 (77.5)	64 (59.8)	p<.01	143 (57.7)	55 (64.7)		230 (72.8)	198 (59.5)	p<.01	

※1：「とてもある」または「ややある」

※2：「どちらともいえない」「あまりない」「全くない」

表8 大学や学部への要望

	1年		2年		3年		性別 (後期のみ)				全学年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	男性	女性	男性	女性	前期	後期
	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、大学や学部に変更はありますか。	114 (67.9)	59 (45.4)	92 (73.0)	56 (38.6)	100 (82.0)	52 (45.2)	121 (42.2)	46 (44.7)	0.728	306 (73.6)	167 (42.8)	<b>p&lt;.01</b>
ある	54 (32.1)	71 (54.6)	34 (27.0)	89 (61.4)	22 (18.0)	63 (54.8)	166 (57.8)	57 (55.3)		110 (26.4)	223 (57.2)	
ない												
「ある」と回答した学生：コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、大学や学部に変更はありますか。	前期 n=114	後期 n=59	前期 n=92	後期 n=56	前期 n=100	後期 n=52	男性 n=121	女性 n=46		前期 n=306	後期 n=167	
経済的援助を充実させてほしい	56 (49.1)	32 (54.2)	57 (62.0)	35 (62.5)	68 (68.0)	37 (71.2)	75 (62.0)	29 (63.0)	1.000	181 (59.2)	104 (62.3)	0.556
授業形態の工夫(遠隔・短縮)	30 (26.3)	29 (49.2)	19 (20.7)	32 (57.1)	32 (32.0)	25 (48.1)	59 (48.8)	27 (58.7)	0.300	81 (26.5)	86 (51.5)	<b>p&lt;.01</b>
授業、ネット配信、レポート対応												
部活動・サークル活動の見直しを示してほしい	74 (64.9)	34 (57.6)	49 (53.3)	31 (55.4)	49 (49.0)	12 (23.1)	54 (44.6)	23 (50.0)	0.603	172 (56.2)	77 (46.1)	<b>0.043</b>
もっと学生の意見を聞いてほしい。	19 (16.7)	20 (33.9)	8 (8.7)	24 (42.9)	13 (13.0)	19 (36.5)	46 (38.0)	17 (37.0)	1.000	40 (13.1)	63 (37.7)	<b>p&lt;.01</b>
対面授業の開始をもう少し繰り下げてほしい	13 (11.4)	21 (35.6)	18 (19.6)	17 (30.4)	23 (23.0)	8 (15.4)	35 (28.9)	11 (23.9)	0.566	54 (17.6)	46 (27.5)	<b>0.013</b>
情報をこまめに発信してほしい	36 (31.6)	16 (27.1)	16 (17.4)	20 (35.7)	25 (25.0)	9 (17.3)	32 (26.4)	13 (28.3)	0.846	77 (25.2)	45 (26.9)	0.742
食堂など多くの学生が集まるところは改善してほしい	10 (8.8)	10 (16.9)	16 (17.4)	11 (19.6)	15 (15.0)	5 (9.6)	17 (14.0)	9 (19.6)	0.473	41 (13.4)	26 (15.6)	0.581
新歓などの企画を工夫して実施してほしい	11 (9.6)	12 (20.3)	0.060	21 (22.8)	4 (7.1)	3 (5.8)	14 (11.6)	5 (10.9)	1.000	55 (18.0)	19 (11.4)	0.064
健康チェック体制をしっかりとしてほしい	6 (5.3)	3 (5.1)	1.000	7 (7.6)	5 (8.9)	4 (7.7)	8 (6.6)	4 (8.7)	0.738	16 (5.2)	12 (7.2)	0.418

「部活動・サークル活動の見通しを示してほしい」が前期172名(56.2%)から、後期77名(46.1%)と有意に減少し、学年別では3年生のみ49.0%から23.1%へ有意に減少した。一方、「授業形態の工夫(遠隔・短縮授業, ネット配信, レポート対応)」に関する要望は26.5%から51.5%へ有意に増加し、学年別でも全ての学年で増加し、1・2年生で有意差が認められた。また、「もっと学生の意見を聞いてほしい」という要望も13.1%から37.7%に有意に増加し、学年別でも全ての学年で有意に増加した。「対面授業の開始をもう少し繰り返してほしい」については17.6%から27.5%へ有意に増加し、1年生のみ有意差が認められた。

以上の結果から、大学や学部に関連のある要望が5割以下に減少したことが明らかとなったが、最も高い要望は「経済援助を充実させてほしい」で、前期、後期とも同様であった。新型コロナウイルスの感染が急速に拡大していく中で、学生が最もダメージを受けるのは経済的な問題であることが推察される。また、要望が高い「授業形態の工夫(遠隔・短縮授業, ネット配信, レポート対応)」については、引き続き検討が必要である。今後の授業において、コロナ禍にかかわらず遠隔授業が採用される可能性が高いため、教育の質を保障する授業形態を、学部全体で学習、共有していく取り組みが必要であろう。

### 3.3. 後期調査の性別, 学年別比較

後期調査のみを対象に、性別で検討した結果を表3~8に示した。その結果、「健康」、「講義・授業」、「大学生活」および「日常生活」に関する不安や心配の有無、「経済」高不安群の割合、「大学や学部へ

の要望」の有無についての有意差が認められず、不安や心配の状況には、性差は見られないということが示された。しかし、各調査項目の具体的な不安や心配等で、わずかにちがいが確認されたのは、「講義・授業に関する不安や心配」の項目で、「WEB授業がどのように行われるのか不安」において、男性(41名36.3%)が女性(4名8.9%)より有意に高く、「大学生活に関する不安や心配」の項目で、「対面授業開始後の3密(講義・食堂・購買等)への対策」において、女性(19名50%)が男性(25名29.4%)より有意に高かった。

次いで、学年差については表9に $\chi^2$ 検定のp値のみを表示した。具体的な数値は表3~8を参照いただきたい。その結果、前期で認められた学年による「大学生活」の不安や心配の有無、「大学や学部への要望」の有無については、後期では解消され、学年差が認められなくなった。また、具体的な不安や心配の内容についても検討したところ、顕著な差は認められなかった。紙面の都合で詳細は省くが、前期に見られた学年差が後期ではかなり解消されたといえる。

今回の調査結果には顕著な男女差が認められなかったことから、コロナ禍での不安や心配は性別に関係なく、全ての学生に影響する可能性がある。男性に比べ女性の方が不安や心配を持ちやすい傾向にある<sup>4)</sup>ものの、定期的な運動・スポーツ実施がメンタルヘルスの保持増進に寄与する可能性が高いことが報告<sup>5)</sup>されているように、スポーツ科学部に所属する女子学生は一般の女性よりメンタルヘルスが優れている可能性がある。

表9 調査項目別不安や心配の有無に関する学年比較※

	健康状態	講義・授業	大学生活	日常生活	経済	大学や学部への要望
【参考】前期調査学年別 p値	0.677	0.056	<b>0.000</b>	0.084	0.070	<b>0.026</b>
後期調査学年別 p値	0.572	0.095	0.950	0.182	0.418	0.435

※後期調査について学年(1.2.3年)×各調査項目の不安や心配(有無)について $\chi^2$ 検定を行い、p値を掲載した。関連する数値は表3~8を参照

#### 4. まとめ

本研究は新型コロナウイルス感染拡大の影響によるスポーツ科学部学生の「健康」、「講義・授業」、「大学生活」、「日常生活」、および「経済」への不安について、2020年度前期初めの調査（前期調査としてすでに報告済み）と今回実施した後期授業終了時の調査（後期調査）を比較し、今後の学生指導の資料を得ることを目的として行われた。調査結果について以下に示す。

- 1) 前期調査と後期調査において、学生の不安は、「大学生活」では変化がないものの、「健康」では有意に増加、「講義・授業」、「日常生活」、「経済」および「大学や学部への要望」では有意に減少した。
- 2) 「大学生活」の不安や心配は前期調査から後期調査において十分改善されていないことが示され、特に就職活動や教員採用試験など、学生の進路に関連する不安は学年とともに高くなり、今後丁寧な対応が必要である。
- 3) 「健康」や「日常生活」に関する不安を感じている学生の中には、特にメンタル面でのサポートが必要な学生がいることが示唆された。
- 4) 経済への不安や心配、経済支援の要望は前期に比べ減少しているものの、一定数の学生は引き続き不安感を抱いているため、ゼミ教員による面談や個別対応など、きめの細かいサポートが必要である。
- 5) 遠隔授業での学習の質に対し学生は不安を抱いており、授業形態の工夫（遠隔・短縮授業、ネット配信、レポート対応）に関する要望も高い。遠隔授業はコロナ渦にかかわらず今後も採用される可能性が高いため、学生が満足する授業づくりについて、教育の質を高める授業形態を学部全体で検討・共有していく取り組みが必要であろう。

#### 引用文献

- 1) 山根真紀, 大宮ともこ, 石井智也, 住田健 (2021) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大における学生の健康及び生活に関する調査報告, 日本福祉大学スポーツ科学論集 4 : 65-73. [https://nfu.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=3452&item\\_no=1&page\\_id=28&block\\_id=82](https://nfu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=3452&item_no=1&page_id=28&block_id=82)
- 2) 文部科学省：大学等における後期等の授業の実施状況に関する調査 [https://www.mext.go.jp/content/20201223-mxt\\_kouhou01-000004520\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20201223-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf) (2021.10.25 入手)
- 3) 文部科学省：新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査 [https://www.mext.go.jp/content/20210216-mxt\\_kouhou01-000007001-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210216-mxt_kouhou01-000007001-1.pdf) (2021.10.25 入手)
- 4) 千田要一, 久保千春 (2006) メンタルヘルスにおける性差—精神障害の性差, 医学のあゆみ, 219 (5) : 394-400.
- 5) 永松俊哉他 (2010) 青年期における運動部・スポーツクラブ活動がストレスおよびメンタルヘルスに及ぼす影響—高校生を対象とした15か月間の縦断研究—, 体力研究, 108 (0), 1-7.